

虚弱高齢者の 介護予防の充実を

五十嵐 多喜子 議員

答 ボランティアポイント制は 慎重に検討

問 公明党のアンケート調査では「介護する家族の負担が身体的、精神的、経済的に大きい」が全国平均53%ある。市の介護保険事業計画に「介護が必要な状態になる前から介護になっても悪くならないよう連続性のある健康づくり、介護予防事業」とある。虚弱高齢者の介護予防のため、高齢者のボランティア活動をポイント制にできないか。

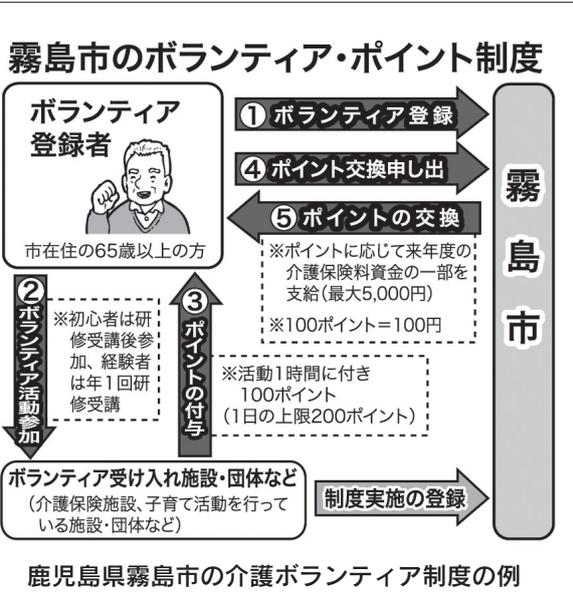
市長 平成18年の介護保

険法改正で実施可能になっている。法改正の目玉は介護予防の取り組みの強化だ。市でも介護予防事業は促進している。健康づくり課長 慎重に検討したい。

資源ごみ回収にも ポイント制を

問 市のかんきょう課のアンケートに「ごみ処理には多額の税金を投入。資源ごみを減らすことが燃やすごみの処理費の低減につながる」とあった。しかし資源ごみ収集の経費は大。東京都足立区では、事業所がペットボトル回収に自動回収機を設置し、区民が自発的に推進しポイントを貯めるというものもあるが。

市長 効果を上げている自治体もあると聞いている。かんきょう課長 引き続き検討させてもらう。



新幹線筑後船小屋駅の 乗降客数は

矢加部 茂晴 議員

答 JRからの発表がなく
待つしかない状況

問 全線開通から3か月、新幹線筑後船小屋駅の乗降客数の評価と分析は。

市長 JR九州に再三尋ねている。乗降客数の発表がないので、それを待つしかないという状況だ。

問 待つ以外にないという姿勢でいいのか。JRに働きかけることとあわせて、市として例えばウオッチを1日行い、乗降数だけでなく、観光やビジネスなどの利用目的もお聞きして今後活かすことが必要だと思うが。

市長 これから先も根強くJRに求めていくが、これが間に合わないとしたら、今提案のあったことも視野に入れて、利用実態をできるだけ正確に把握する努力もしていかなければならないと思う。



新幹線新駅開業後のまちづくりは
筑後市の課題

終の住みかとして 選ばれる 筑後市づくりを

問 筑後市として多額の投資をした新幹線新駅の活用を、住みよい筑後市をつくるその実現のために、まず位置づけるべきだと思う。終の住みかとして選ばれる筑後市のた

めに、子育て支援や環境保全などの環境整備をやっていた方がいいが。
市長 私も力を入れていく子育てがしやすい環境づくりなど総合的に整備しながら、定住促進のために知恵をめぐらしたいと思っている。